

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会医療診療行為別調査費	担当部局庁	大臣官房統計情報部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和30年度	担当課室	人口動態・保健社会統計課社会統計室	室長 川上 一郎			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法(平成19年5月23日法律第53号)第19条	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	協会けんぽ、組合健保、国保及び後期高齢者医療における医療の給付の受給者に係る診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、診療報酬改訂に必須となる基礎資料を得ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会保険診療報酬支払基金支部及び国民健康保険団体連合会において審査決定された6月審査分の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書を対象とし、その写しを厚生労働省に提出する方法により行う。提出された明細書については当省において集計を行い、その結果を公表している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	156	155	111	69	61
		補正予算					
		繰越し等		▲29	▲10		
		計	156	126	102	69	61
	執行額	121	126	106			
執行率(%)	77.5	100.3	103.9				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	この事業は、省内各部局が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	客体数:約1億枚 公表予定:平成24年6月	活動実績 (当初見込み)	レセプト枚数	465,001	443,230 (約45万)	※未公表のため — (約1億)	— (約1億)
		算出根拠	106,315千円(H23執行額)÷約1億枚(H23レセプト見込み枚数)				
単位当たりコスト	1(円/1枚当たりレセプト)						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.08	0.08	レセプトの電子化の進展に伴う符号化及び入力データ作成費の減 レセプトの電子化の進展に伴う調査手当の減			
	消耗品費	0.3	0.3				
	印刷製本費	2	2				
	雑役務費	44	43				
	委託費	23	16				
	計	69	61				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	診療報酬改定のための基礎資料として活用
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	診療報酬明細書を使用する調査であるため地方自治体や民間等に委託出来るものではない。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については、会計法令上認められている少額の随意契約である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	データベースを活用することで単位あたりコスト削減を行っており、その水準は妥当であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	調査実施に必要な経費のみとしている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的を達成していることから実効性は高いと考えている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みに見合ったものである。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	診療報酬改定のための基礎資料として活用
点検結果	<p>今後も調査を確実に実施することで、医療保険行政のための基礎資料を得る。また、調査の結果は、遅滞なく公表し国民の皆さまをはじめ本調査の利用者に提供する。調査の実施に当たっては、今後も適正かつ効率的な予算の執行に努めるものとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	12	平成23年行政事業レビュー	12

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
106百万円
〔社会医療診療行為別調査の実施〕

【事務費】

0.07百万円
〔職員旅費〕

【A.一般競争入札】

(株)メディウエル
25百万円
〔データ処理業務〕

【B.随意契約】

民間会社(8社)
54百万円
〔システム改修業務、調査票の受付・審査等〕

【C.委託費】

国民健康保険中央会、
社会保険診療報酬支払基金
27百万円
〔保健医療機関及び保険薬局の明細書の抽出を行い、写しを厚生労働省へ送付〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)メディウエル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データの処理業務	25			
計		25	計		0
B.富士通(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム改修業務	46			
雑役務費	統計システムに係る検証業務	5			
計		51	計		0
C.国民健康保険中央会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査手当	審査員等の手当	8			
雑役務費	提出用明細書作成料	3			
消耗品費	プリンタ用紙や事務用品の経費	2			
借料損料	複写機使用料	2			
通信運搬費	レセプト発送費	1			
消費税		1			
計		16	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディウエル	データの処理業務	25	2	77.1%

B. 民間会社(8社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	システム改修業務及び統計システムに係る検証業務	51	随意契約	
2	(株)デンシヨク	報告書の印刷	2	随意契約	
3	(株)日経スタッフ	受付・審査業務	0.8	随意契約	
4	統計印刷工業(株)	調査手引きの印刷	0.2	随意契約	
5	(独)国立印刷局	官報公告	0.1	随意契約	
6	友愛十字会友愛書房	書籍の購入	0.1	随意契約	
7	(有)千代田商事	電磁的記録媒体の廃棄	0.04	随意契約	
8	(株)ミクニ商会	レンジャーパックの購入	0.005	随意契約	

C. 国民健康保険中央会、社会保険診療報酬支払基金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	レセプトの抽出を行い、写しを厚生労働省へ送付	16	随意契約	
2	社会保険診療報酬支払基金	レセプトの抽出を行い、写しを厚生労働省へ送付	11	随意契約	